

General Guidance for Global Praxis (GP) & Global Praxis Advanced (GP-A)

Midori Sato, Dr.PH, Senior Project Lecturer

Globalization Office, Graduate School of Arts and
Sciences

E-mail: midsato@g.ecc.u-tokyo.ac.jp



THE UNIVERSITY OF TOKYO

Thematic Studies: Global Praxis (GP) &
Global Praxis Advanced (GP-A)

General Guidance

Hybrid learning
in the new normal during and post-COVID

October 6th, 2021

(Wednesday)

12:15-12:55 @Zoom

Register before it starts!

<https://u-tokyo-ac.jp.zoom.us/join/register/tZMvdOusrT0uHNYEs-vhCJalkqXrUR8wYSSW>

Registration
Form



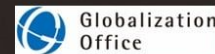
FOR MORE INFORMATION

on Global Praxis, please visit our website.

<http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp>

 Global Komaba

ENQUIRIES : GlobalizationOffice
(B1, 21 KOMCEWest) | 10:00-17:00
Dr. Midori Sato, Senior Lecturer
midsato@g.ecc.u-tokyo.ac.jp





<https://www.facebook.com/GlobalKomaba/videos/2046777242>

[251522](#)

CHARACTERISTICS

1. Harness the power of global thinking

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルかつ新たな視野を養う機会を得る

3. Earn credits

終了すると通常2単位が認定される

短期集中型研修が多い

2. The first step for studying abroad

学生にとっての初めての海外経験を後押し。進んで自分の視野を開こうとする学生の積極的な参加姿勢が必須

4. No prior study abroad experiences usually required

受講にあたっては海外経験の有無は問わない

5. Various cross-cultural learning and exchange opportunities

可能な限りの国際経験・交流の機会を得て現地学生との交流ができる



Type

1. Intensive overseas training designed specifically for U-Tokyo students (fully or partially) with collaborating institutions /**海外教育機関との海外での共同プログラム**
2. Training in Japan with overseas students/**海外の学生との日本国内での研修**
3. Training programs provided by overseas educational institutions **海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修**



韓国料理実習（チヂミとプルゴギ）

Historical Background of GP

2015
Initiated as a
flagship of
Education
Reform

2016-19
Over 15
courses/each
semester
offered

2020-21S
10-13 courses
(online)
3 postponed

2021-A
4 Japan-based
1 Online
substitution
5 Overseas (TBD)



UNAM との交流の写真

What's New in 2021-A semester

Objective of Global Praxis Course is unchanged

国際研修趣旨「異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る」は変わらない

1. Re-start of Overseas Program/渡航型国際研修の再開(国、期間、プログラム内容による)ワクチン2回接種証明、陰性証明などの条件を満たした場合短期滞在を受け入れている国への渡航の可能性はゼロではなくなってきた。
2. Japan-based Program/日本にいながら、時間と予算をあまり心配せず国内外の学生と交流し、語学、自文化や異文化を学ぶような研修や交流活動を伴う国際研修の試みがスタート (i.e., 深思北京2021、グローバル化のなかの日本と韓国朝鮮、体験型日本文化、平和のために東大生ができることなど)
3. Various modes of classes (real, online, virtual) / 様々な授業形態 (i.e., 対面+オンライン ZOOM+VR(バーチャルリアリティ)異文化交流、バーチャルミュージアム、体験型学習、ブートキャンプなど)

2021-A 国際研修・後期国際研修(No.1-3)

(コースカタログ <https://catalog.he.u-tokyo.ac.jp/result?type=id&q=%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E7%A0%94%E4%BF%AE>より)

コース名	国名	教員	時限	対象	個別ガイダンス
1.国際研修 (イタリアで考古学を体験する)&後期国際研修(2)	イタリア	村松真理子	A2集中 事前学習の会を1月に行う。イタリア渡航は2月下旬、1週間の日程で渡航	前期・後期	研究員が帰国する 10月25日以降に実施
2.「国際研修(グローバル化のなかの日本と韓国朝鮮)」 「後期国際研修(1)」の合同コース	日本	三ツ井崇	火曜2限 駒場1号館 162教室	韓国朝鮮語TLP生および韓国朝鮮語の中級以上の受講経験を持つ学生と、教養学部 ¹ に在籍する留学生を主たる対象	初回授業: 詳細は、ガイダンスで説明をするので、履修を考えるものは、初回に必ず参加すること。
3.国際研修 (国際研修(台湾)TLP生のみ)	台湾	阿古智子	(3月2-3週目の7泊8日になる予定)	TLP中国語1年生のみ	個別ガイダンス日程や内容についての詳細はTLP生向けメーリングリストを通じて行う

成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講もしくはオンライン代替授業となる可能性が十分にある。

「イタリア考古学を体験する」詳細情報

- ・2021年7月に開催されたグローバル地域研究機構地中海地域研究部門主催の「ソマヴェスヴィアーナ上映会」ポスター
- ・上映会については、**現在もYouTube Live配信中で視聴ができます(QRコード参照)**

<https://youtube.com/channel/UCeEanyKZ2CSYWGBbC8juyXg>

・イタリアで実際、調査が行われております遺跡や国際研修の学生の様子や実際、研修にご参加する時の発掘現場の様子がわかります。「個別説明会の開催や研修の実施時期、その他の内容などについては、11月の初旬を目処に改修される予定の下記の地中海地域研究部門のHP (<http://mas.c.u-tokyo.ac.jp/>) に掲載するので、参加希望者は、11月以降にHPにアップされる案内をチェックしていただきますよう、よろしくお願いいたします。」

◎お問合せ先:総合文化研究科地域文化研究専攻・教授村松真理子先生のメールアドレス marikom@ask.c.u-tokyo.ac.jp
rhgu5924@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

現在もYouTube Liveにてオンライン配信中です



連続3回ワークショップ
イタリアローマ時代遺跡
東京大学発掘調査20年の軌跡
―記録映像上映会・対談―

ファシリテーター 村松真理子
(東京大学大学院 総合文化研究科 教授)



YouTube Liveにて
オンライン配信



第1回 7月4日 13:00~15:30 「そもその始まりー 20年に及ぶ学際研究ー」

ゲスト 青柳正規 (古典考古学) 藤井敏嗣 (火山学) 本村凌二 (歴史学)
(東京大学 名誉教授) (東京大学 名誉教授) (東京大学 名誉教授)

第2回 7月10日 13:00~15:30 「垣根を超える科学者たち、多文化共生・統合人間学プログラム研修生達がみたローマ遺跡」

ゲスト 青柳正規 松田陽 (文化資源学) ほか
(東京大学大学院 人文社会系研究科 准教授)

第3回 7月11日 14:00~16:30 「ソマ・ヴェスヴィアーナから世界へ」

ゲスト 青柳正規 芳賀京子 (西洋美術史)
(東京大学大学院 人文社会系研究科 教授)



ワークショップ
資料配付 QRコード

問い合わせ先
info@mas.c.u-tokyo.ac.jp
最新情報はTwitterで
<https://twitter.com/UTSPS>

主催: 東京大学大学院 総合文化研究科
グローバル地域研究機構 地中海地域研究部門
共催: 文部科学省 科学研究費補助金
ソマ・ヴェスヴィアーナ遺跡発掘の成果と
文化的継承

2021-A 国際研修・後期国際研修(No.4-6)

コース名	国名	教員	時限	対象	個別ガイダンス
4.国際研修 (多文化共生社会の課題を英語で学ぶ: オーストラリア研修 & 後期国際研修(3))	オーストラリア	佐藤みどり	2/11-16 事前研修 2/26-3/13 渡航研修	前期・後期	10月14日
5.国際研修 (ケルン大学 TLPドイツ語春季研修)	日本	川喜田 敦子 平松英人	3月の研修は渡航を見合わせ、オンラインで実施	ドイツ語TLPプログラム参加者のうち、審査を経て登録を許可された者のみが登録可能。募集はドイツ語TLPクラスの授業内	詳細は後日
6.国際研修 (TLPフランス語春季研修)	フランス	寺田 寅彦	2022年2月～3月に2週間程度	TLP前期課程	今年度は研修実施形態が確定してから(10月下旬～11月初旬を予定

成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講もしくはオンライン代替授業となる可能性が十分にある。

2021-A 国際研修・後期国際研修(No.7-10)

コース名	国名	教員	時限	対象	個別ガイダンス
7実践的国際人道法入門/ 後期国際研修(4)	スイス	キハラハ ント 愛	14 March - 19 March 2022	前期・後期	10月11日5限(90分授業扱い) 17:05— https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/88052789870?pwd=c1Y3SVVmL05PUGNzc0JtTFBIV3RCQT09
8.深思北京2021&後期国 際研修(5)	(オンライ ン実施)日 本	伊藤 徳 也	集中・6限	前期・後期	10月4日(月)12:20~12:50
9.日本の伝統文化とその 変容・発展を英語で学ぶ体 験型学&後期国際研修6	日本	佐藤みど り	10/8-1月末 金曜2限	前期・後期	10月5日(火)終了
10.国際研修(平和のため に東大生ができること:中 央アジア研修)	トルクメニ スタンorカ ザフスタン 共和国	岡田 晃 枝	2月後半にオンラ インで実施予定 (安全な渡航が 可能な場合には 3月に渡航の可 能性有り)	前期・後期	全学自由研究ゼミナールの初回ガイ ダンスに必ず参加すること。(木曜 5 限)

成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。新型コロナウイルス感染症拡大のため不開講もしくはオンライン代替授業となる可能性が十分にある。

実践的国際人道法入門/後期国際研修(4)

ガイダンス: 10月11日5限(90分授業扱い)17:05から

ガイダンスのZoomアドレス

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/88052789870?pwd=clY3SVVmL05PUGNzc0JtTFBIV3RCQT09>

1. 参加したいがガイダンスにどうしても参加できない学生は、ガイダンスに日時までに **キハラハント先生**に連絡。以降は認めないとのこと。
2. 履修に制限人数がありますので、制限人数を超えて希望がある場合には選抜になります。
3. 選抜の内容は、国際人道法・人権法や国際機関への関心・学習されている内容との親和性、ジュネーブの学生さんたちとディスカッションができる英語力などで、人数にもよりますがオンラインでの個別面接を考えています。
4. 渡航できるとなった場合の渡航の手続きなどは、例えばビザが必要であったり、コロナ対応の書類が必要であった場合などは学生個人が責任を持ってそれを用意すること。
5. コロナの状況、コロナ対策の状況によって、渡航できない可能性があり、その場合にはオンラインでの内容に切り替えます。

科目名:(教養学部前期課程)「国際研修(グローバル化のなかの日本と韓国朝鮮)」と(教養学部後期課程)「後期国際研修(1)」

(上記2つの講義を合併して開講)

開講学期・曜限:A セメスター・火曜2限

「この国際研修は渡航をしないオンライン研修です。10月4日(月)昼休みに説明会を行いました。説明会に出られなかった参加希望者は、UTASに掲示されているメールアドレスまで、早めに、説明会の内容を問い合わせして下さい。実施時期は11月になります。細かい日時は、参加予定者の都合を調整して決める予定。」

責任教員:三ツ井 崇先生(大学院総合文化研究科言語情報科学専攻、教養学部韓国朝鮮語部会)

「国際研修」日本の伝統文化とその変容・発展を英語で学ぶ体験型学習 & 「後期国際研修 6」

ガイダンス: 10月5日 終了

初回授業: 10月8日(金2限)対面 @KOMCEE WEST 301またはオンライン

1. 初回授業に対面で参加することを希望する学生は部屋の人数制限があるので、10/6佐藤までに連絡してください。
<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/89912261619?pwd=Q1FrSWtBNmVsdjZLY1VhenlQbU5JZz09>
2. ガイダンスに参加しなかった学生で受講を希望する場合には、履修希望を佐藤 先生に連絡し10月8日の初回授業に参加すること。以降は認めない。
3. 受講希望者は、シラバスにも記載されている履修希望者エントリーシートに 10月10日23pmまでに入力すること。
https://docs.google.com/forms/d/1v2oZJXWLiUuSZ2MNflpwACF81pk_5zJsPKquzuzD86Lo/edit
4. 履修に制限人数があるため、制限人数を超えて希望がある場合には選抜を行う。
5. 選抜の内容は、受講生の日本文化への関心の高さ、学習されている内容との親和性、英語でディスカッションができるようになるための意欲などで、人数にもよりますが上記エントリーシートをもとに、必要であればオンラインでの個別面接を行う
6. この授業は体験型であり、一部週末にも授業があります。コロナの状況、コロナ対策の状況によって、校外学習に参加できない場合にはオンラインでの内容に一部切り替えます。

NOTES OF CAUTION/履修上の注意

1. *Due to ongoing situation, it is likely that alternative classes may be held, or classes cancelled, or postponed to the S2022 semester.* 以前として超短期海外研修へのハードルは高く来年に延期・オンライン代替授業となる場合が十分ありうる
2. Contact the professor in charge of your course to obtain the most updated information. 不開講を本日までに決定している研修はないが、各々が、履修を希望する国際研修の担当教員と連絡を取れるようにしておくこと。
3. *Please note that due to course schedules, it is highly likely that the grades will be registered and published after the designed confirmation date.* 成績報告についてはプログラム終了次第、可能な限り速やかに行われるが、所定の成績確認日より後に登録・公開される見込みが高い。
4. *In some classes class participants selection results will be announced after the course registration period. Ensure making correction during registration correction period.* コースによっては、履修者選抜許可者確定が、通常の履修登録期間より後になることがある。履修科目確認・訂正期間終了(~ 10/25(月)16:50)前まで許可者は自分でUTASから履修を登録する必要がある。

Course Registration (Revision Period) /履修登録 修正期間

前期課程学生の履修科目確認訂正期間

Aセメスター/A1ターム: **10月20日(水) ~ 25日(月)16:50**

A2ターム: 12月6日(月) ~ 10日(金) 16:50

後期課程学生は、昨年度より訂正期間を設けていないとのことです。履修登録期間は下記のとおりです。

Aセメスター・A1ターム・A2ターム科目: **10月4日~19日**

(A2ターム科目は、11月29日~12月10にも登録・削除可能)

Notes of Caution Cont.. /履修上の注意続き

3. Depending on the course, participants may be selected or language proficiency above a certain level may be required for application /科目により、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。

4. Course fees (borne by students) vary from course to course. The same applies to receiving scholarships. /学生が負担する費用は、授業により異なる。奨学金の受給も同様である。

5. Some classes require pre-travel lectures and others require students to take other courses prior to travel. /研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件

6. Students are encouraged to attend course specific guidance in which you are interested to attend. /興味のある研修の個別のガイダンスにも参加すること

Notification Regarding Overseas Travel and Entry to Japan During the Novel Coronavirus (COVID-19) Pandemic (2nd Notification) Updated on July 8, 2021

2020年11月19日 2021年7月8日 一部更新(変更部分ハイ...

"If you are thinking of traveling overseas or entering Japan for research purposes, plan your trip in accordance with "1. Travel from Japan to Other Countries" and "2. Entering Japan" above and the following guidelines. (3-1) Please consider very carefully whether you should travel to any country or region indicated as having an infection risk level of 2 or above on the Ministry of Foreign Affairs' overseas safety site (in Japanese). If you believe that such travel is necessary for educational or research purposes, however, then fill out the required paperwork and submit a request for permission for overseas travel to the Novel Coronavirus Taskforce as stated in the announcement issued on November 19, 2020. Your request will be screened by the Dean's Office and reviewed by the university-wide Taskforce. You will be

外務省海外安全ホームページが示す感染症危険情報レベルが「レベル 2」以上である国と地域への渡航は慎重に検討してください。ただし、教育・研究上必要な渡航であると判断される場合は、所定の様式に必要な事項を記入した上で、「海外渡航にかかる新型コロナウイルス 3 対策タスクフォースへの審議依頼について」(2020年11月19日付教養学部等事務通知。以下「事務部通知」という。)に従って提出してください。本様式は研究科長室を経て、本部新型コロナウイルス対策タスクフォースの審議に附されます。本部新型コロナウイルスタスクフォースの承認を得て、初めて渡航が認められます。

COST AND FEES

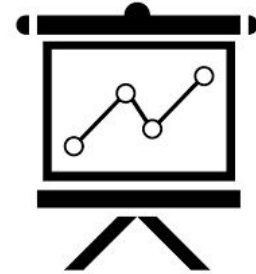
1. Fees differs subject to the type of courses /コース参加費用は、コース形態、
渡航先、内容により大きく異なる
 - a. Example 1: Travel abroad (estimated cost US\$ 2500-4500 (travel, accomodation, local transport, insurance)
 - b. Example 2: On-line 20US\$-2000\$ (depending on courses)
2. Subsidies from U-Tokyo and others may be provided to reduce cost incurred by students /**2020年Aセメのオンライン研修は 語学学校授業料はすべて、大学側（国際研修予算）から支払われたが、本年度も同様の措置となるかどうかは未定。（担当教員に確認）**

COURSE EVALUATION

QUIZ & TESTS



PRESENTATIONS



WRITE-UPS



PARTICIPATION

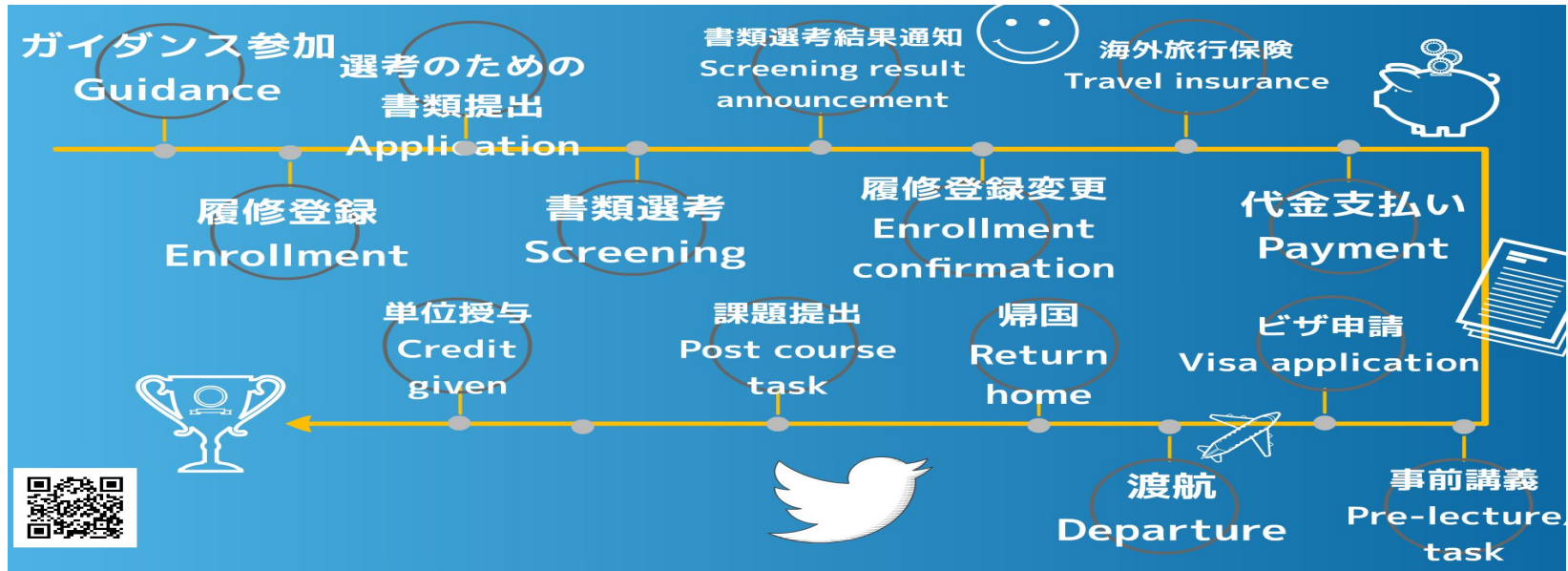


海外渡航時の注意

Precautionary measures for overseas travel

- *Written Oath, Overseas travel request forms, registration of travel abroad MOFA system, OSSMA* 誓約書の提出、海外渡航届及び海外渡航審議依頼書、「たびレジ」、OSSMA登録など
- *Mandatory overseas travel insurance. Insurance with credit card is not accepted/* 海外旅行保険の加入は必須である。クレジットカード付帯の海外旅行保険は不可
- *Drinking is not permitted regardless of age, class contents, local law/regulations/* 年齢、授業内容、現地の法規に関わらず、飲酒は不可（「国際研修」は授業である）
- *There may be a sudden cancellation due to the state of world affairs and security conditions. Refunds will be made, but the full amount will not be returned. /* 世界情勢によって急な中止もありうる（コロナ以前も現地の情勢により直前に中止になった研修あり）適切な方法で返金がなされるが、全額は返ってこない。
- *During the training, you must follow the instructions of the staff in charge for safety management reasons. /* 安全管理上の理由から担当教職員の指示に従わなければならない（誓約書に誤った名前を記載したなどの言い訳は許されない）

単位取得までの流れ(General Schedule)



THANKS



DO YOU HAVE ANY QUESTIONS?

E-mail:
midsato@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

C.c. to :
globalpraxis@global.c.u-tokyo.ac.jp

<https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/outbound/program/globalpraxis/>

CREDITS: This presentation template was created by Slidesgo, including icons by Flaticon, and infographics & images by Freepik.

各研修については担当教員へ問い合わせ(シラバスに連絡先は記載)(*Contact course director/professor in charge for further details*)